

AOB Seminar

「大地震の前兆的地殻変動は存在するか？」

“Crustal deformations as an earthquake precursor :
Do they really exist ?”

鷺谷 威 助教授
(名古屋大学)

2005年9月15日 (木) 13:00 – 14:30

地震・噴火予知研究観測センター (別館) 第一会議室

September 15, 2005 (Thu) 13:00 – 14:30

Research Center for Prediction of Earthquakes and Volcanic Eruptions
Lecture Room #1 (AOB annex)

--- Abstract ---

大地震の直前予知は多くの地震研究者が目指している究極の目標の一つである。大地震に先行して顕著な地殻変動が起きたという事例は昔から数多くある。そうした現象が存在するのであれば、直前予知を実現する上で大変有力な手段が得られるはずだが、不思議なことに、観測精度が向上すればするほど、前兆的地殻変動の事例は少なくなり、報告された事例の規模も小さくなってきている。こうした傾向を見る限り、前兆的地殻変動の存在について楽観視することは許されず、過去の事例について批判的検証を加えるとともに、現在利用可能な高精度の観測網を駆使した事例の検出を試みるが大変重要である。

本講演では、特に1944年東南海地震の直前に掛川付近で行われていた水準測量のデータについて詳細な検討を行うとともに、全国のGPS連続観測網のデータを用いた異常地殻変動検出の試みについて紹介する。